ポスター発表

2025年11月2日(日) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P2] ポスター発表 #2

[P2-16] 組成データのための空間統計量の提案

*吉田 崇紘[1]、山田 育穂[1] (1. 東京大学)

キーワード：組成データ、空間統計量、土地利用

本研究の目的は、一変量データに対するMoran’s I 統計量を多変量データの一つである組成データにも適用できるように拡張することである。組成データ全体の空間的自己相関の程度だけでなく、各変量における空間的自己及び相互相関の程度も合わせて把握できるよう、distance correlation 指標を援用する。これまで、多変量データに対する空間統計量が提案されているものの、地質学分野で検討されてきた組成データ解析の対数比変換法は参照されておらず、組成データに適用した場合の統計的検出力については検証されていない。本研究では、対数比変換法を援用して新たな空間統計量を提案し、東京都特別区における町丁目別建物用途組成データに応用し、既往研究と提案手法の統計的検出力の比較を行う。

©一般社団法人地理情報システム学会